



内科・消化器内科

総合内科専門医・消化器病専門医
消化器内視鏡専門医・ピロリ菌感染症認定医

平和ボケ

4月12日に開催された自民党大会で、陸上自衛隊中央音楽隊の^{つぐみ}鶴真衣3等陸曹が国歌斉唱を行ったことが問題になりました。自衛隊法では「自衛隊員は選挙権の行使以外の政治的行為を行ってはいけない」とされています。自民党幹部は「私人として」歌ったから問題ないと言いますが、正装で肩書きも紹介されていて、それは認めがたいです。歌ったのが「君が代」かどうかは関係ありません。もちろん悪いのは鶴さんではなく、自民党と歌唱を容認（限りなく命令だと思いますが）した自衛隊幹部でしょう。同大会では、世良公則氏が「燃えろ早苗」と歌ったのですから、世良氏が歌っていれば問題なかったのです。

観点を変えて、自民党が政党ではなく「政治好き」が集まった民間団体だとすれば、この問題は解決します。おまけに政党交付金（153億円）が不要になり、一石二鳥です。

戦後80年、日本人は平和ボケだと言われますが、ボケているのはどっちだという話です。

アメリカの武器を買うだけでなく、「武器輸出」を「防衛装備移転」として閣議決定し、「死の商人」の仲間入りをしました。日本製の武器で犠牲者が出たら平気でいられそうにありません。

人手不足のため、採血が必要な患者さんには、来院日の指定をお願いしております。月曜日、水曜日、その他特定日におきましては、院長が採血することになり、診察の合間で行いますので、待ち時間が長くなることをご了承ください。

感染外来（旧：発熱外来）について

のどの痛み、鼻汁、咳、痰などの「上気道炎症状」の方、および吐き気、嘔吐、下痢などの「消化器症状」の方は、必ず事前に連絡のうえ、予約をお願いします。

診察時間帯は、原則として午前診および夕診の最後です。できるだけ、他の患者さんとの接触を避けるためです。ご協力お願いいたします。マスクの着用も引き続きお願いいたします。

休診の予定

6/15（月）～6/20（土）

膀胱石の治療のため、休診させていただきます。ご迷惑をおかけし、誠に申し訳ありません。

今月号の原稿締め切りは、4/27でした。最新の情報は、ホームページ・きくメールで、ご確認ください。ホームページ：<http://www.kikuchi-clinic.com/>
メールマガジン「きくメール」（無料）の登録はこちらです。

→ <https://www.mag2.com/m/0000239603/>（右のQRコードで登録できます）
Instagram：[hiroshi_kikuchi1](https://www.instagram.com/hiroshi_kikuchi1)（主に、城巡りや旅の投稿です）



救急安心センターおおさか

#7119（または06-6582-7119）
年中無休24時間対応の救急医療相談窓口です。
看護師・医師などが相談に応じます。

八尾市休日急病診療所（内科・小児科）

（八尾市旭ヶ丘 5-85-16 TEL072-993-8223）
日曜日・祝日のみ ①午前10:00～11:30
②午後1:00～3:30 ③午後5:00～8:30

令和8年診療報酬改定のお知らせ

2年に一度の診療報酬改定が行われます。前回(2年前)からは6月1日実施となっています。それまでは3月末に内容がわかってすぐの4月1日実施で、時間的に大変でしたので、この点だけは評価しています。

当院では収入の8割以上が保険診療です。それ以外の特定健診や予防接種(定期接種)も保険診療点数を基準に費用が決まりますので、診療所をつぶすかどうかは、診療報酬次第です。

改定率は最近はずっと、1%以下の「雀の涙」ほどの上昇でしたが、今回は+3.09%と少し増えています。内訳は次の通りです。

- ①賃上げ分 +1.70%
- ②物価対応分 +0.76%
- ③食費・光熱水費分 +0.09%
- ④前回改定後の経営環境の悪化を踏まえた緊急対応分 +0.44%
- ⑤長期処方等の強化による効率化 -0.15%
- ⑥その他 +0.25%

しかし、実際にはこんなには増えません。②は大病院が主な対象で、医科診療所は+0.10%です。③は入院できる施設の話です。④も病院が主で、医科診療所は+0.02%です。

賃上げについては、3.2%(事務職員は5.7%)上げろというご命令です。

皆さんが物価高で大変な現状で、医療費が上がることは誠に心苦しい限りですが、ご理解ください。

それでは、実際の変更点を見ていきます(1点=10円です)(今月号の原稿締め切り時点での試算ですので、変更があった場合には来月号で訂正させていただきます)

例1:初診で診察のみの場合(会社の健診で異常を指摘され受診。相談のみで、処方のない場合)

初診料 291点は変わりません。

医療情報取得加算1点 → 電子的診療情報連携体制整備加算 4点

外来・在宅ベースアップ評価料 6点 → 23点

外来・在宅物価対応料(新設)2点

	点数	1割負担	2割負担	3割負担
5月まで	298点	300円	600円	890円
6月から	320点	320円	640円	960円

処方箋料は変わりませんが、加算点数で以下の変更があります。

一般名処方加算1 10点 → 8点

一般名処方加算2 8点 → 6点

一般名処方加算1とは、処方薬の全てが後発医薬品の場合です。

一般名処方加算2とは、処方薬の一部が後発医薬品の場合です。

処方薬の全てが後発医薬品が存在しない先発品の場合、一般名処方加算は算定されません。

(次ページに続く)

（前ページから続く）

次に、再診についてです。

再診料 75点 → 76点と1点高くなります。

特定疾患療養管理料（生活習慣病以外の慢性疾患）・生活習慣病管理料は変わりません。

医療情報取得加算（3月に1回）1点 → 電子的診療情報連携体制整備加算（月1回）2点

明細書発行体制等加算 1点 → 0（上記に含まれるため）

外来・在宅ベースアップ評価料 2点 → 6点

外来・在宅物価対応料（新設）2点

例2：生活習慣病（高血圧症、脂質異常症、糖尿病）で通院中、処方薬が全て後発医薬品の場合

	点数	1割負担	2割負担	3割負担
5月まで	482点	480円	960円	1450円
6月から	487点	490円	970円	1460円

初診・再診ともに「電子的診療情報連携体制整備加算」という長たらしい名前の点数ができていますが、マイナ保険証の利用体制（オンライン資格確認、医療情報閲覧）、診療報酬のオンライン請求、医療費明細書の発行、インターネットでの情報公開等の条件に加えて、マイナ保険証の利用率が30%以上が求められています。

当院では、最近マイナ保険証の利用率が50%台を維持しています。今後もよろしくお願ひします。

療養費同意書交付料・悪性腫瘍特異物質治療管理料などについて

腰痛症、神経痛などで「鍼灸」の治療を受けられる場合、医師の同意書（6か月毎に発行が必要）があれば保険で治療を受けることができます。

現在「生活習慣病」のため受診継続中で、「生活習慣病管理料」を算定している患者さんには、この「療養費同意書交付料」（100点）を算定できない決まりになっています。これは2年前の診療報酬改定以前は、算定できていたもので、おかしいということになり、今年6月からは算定が可能になりました（元に戻りました）。対象の患者さんには、1割負担で100円、2割負担で200円、3割負担で300円の負担増となりますが、ご理解のほどお願いいたします。

同様に「生活習慣病管理料」を算定している患者さんが、「癌」もあつて腫瘍マーカーを検査する場合に算定できる「悪性腫瘍特異物質治療管理料」も、2年前から算定できないように改悪されていましたが、これも元通り算定できるようになりました。

「てんかん」で抗てんかん薬を処方している場合や「心不全」で強心剤を処方している場合などに、薬剤の効果や副作用を確認するために血液中の薬剤濃度を測定する「特定薬剤治療管理料」も同様の改悪になっていましたが、これらも6月から算定できるようになりました。

患者さんには負担が増えることになり、誠に申し訳ありませんが、この2年間「持ち出し」で検査を強いられていたのが解消されるということで、ご理解のほどお願いいたします。

薬価改定について

薬価(薬の公定価格)は、実勢価格に合わせて、毎回値下げになりますが、今回は-0.86%となっており、すでに4月から実施されています。

後発医薬品のある先発医薬品の選定療養について

現在、**後発医薬品のある先発医薬品の処方**を希望された場合、その差額の25%を実費で支払う(選定療養といいます)ことになっていますが、6月からは差額の50%に引き上げられます。

例:先発医薬品の薬価が1か月1000円、後発医薬品が600円の場合、差額は400円です。

現在は、差額の25%である100円が実費ですが、それが50%の200円になります。(ただし、差額分は保険診療ではないため、消費税が加算されます)

3割負担の場合、後発医薬品なら600円の3割で180円です。

先発医薬品では、現在は差額分110円+残りの900円の3割(270円)で380円です。

6月以降は、差額分220円+残りの800円の3割(240円)で、460円となります。

要するに、国の方針である後発医薬品を選ばない人へのペナルティー(罰則)です。

この試算は、薬剤料だけですので、これ以外に調剤料等が必要となります。

OTC医薬品(市販薬)のある処方箋薬(鎮痛薬、抗アレルギー薬等)の選定療養(保険外し)については、今年度中(来年3月)の実施を目指してこれから国会で審議されます。自民党・日本維新の会を支持しておられる方、本当に賛成ですか???

残薬について

長期にわたって内服薬を続けている場合、どうしても残薬(飲み忘れ)が出ます。

特に複数の薬があつて、服用方法が異なる場合、ほとんどの方で残薬が発生しています。

例えば、朝食後の薬が2剤・昼食後の薬が1剤・夕食後の薬が1剤ある場合、一番残るのは昼食後の分、次に残るのが夕食後の分です。食前と食後の薬があれば、余計に残ります。

残薬が多くなった場合、お知らせいただければ、処方箋で調整しますので、遠慮なくお申し出ください。ただし、お薬手帳などをお持ちいただいて、薬の名前と残っている錠数を具体的にお知らせください(現物の持ち込みでも構いません)。

調剤薬局で残薬の調整を申し出る方もおられますが、**薬局で残薬調整や当院への疑義照会を行った場合、その費用(調剤報酬)が加算される場合があります**ので、ご注意ください。

調剤薬局では「お薬手帳」をつくってもらって、できるだけ同じ薬局で継続して調剤してもらいましょう。複数の医療機関で処方を受けている場合には、同じ薬局で調剤してもらえば「飲み合わせ」や重複のチェックもしてもらえます。

以前はお薬手帳があると「管理料」がついて支払いが多くなっていた時代がありましたが、現在はお薬手帳がなかったり、間隔があきすぎると、高くなります。

例:私の整形外科の処方箋の調剤で「**服薬管理指導料(3月以内再度処方箋・手帳あり)**」は、45点でしたが、「初めての調剤」「前回の調剤から4か月以上経過」「お薬手帳を提示しない」の一つでもあれば、59点と高くなります。かかりつけ薬局を持ちましょう。

特定健診（予約制）

そろそろ受診券が届いた頃だと思いますので、ご希望の方は予約をお願いいたします。
「特定健診」の正式名称は「特定健康診査」です。内容はほぼ同じですが、後期高齢者の場合は「後期高齢者医療健康診査」が正式名称です。後期高齢者では「メタボ」の判定を行わず、その結果で行う「特定保健指導」がないという点が異なります。

対象は40歳以上です。八尾市国保加入者と後期高齢者は無料ですが、他の国保や社会保険の方は検査項目や負担金が異なりますので、受診券でご確認ください。

受診券を紛失した場合は、再発行が可能ですので、八尾市役所（窓口、電話、電子申請）にご連絡ください。

検査内容は、①問診票記入、②身体計測（身長・体重・腹囲）、③尿検査（尿糖・尿タンパク）、④血液検査（貧血・肝機能・糖尿病・脂質・腎機能等）、⑤心電図、⑥診察。

血液検査の結果は当日は出ませんので、結果判定は後日に受診していただきます。

健診結果により、「メタボ」の判定および医師の判断を行います（後期高齢者を除く）

メタボ	1. 該当	2. 予備群	3. 非該当		
医師の判断	1. 異常認めず	2. 要観察	3. 要指導	4. 治療中	5. 要医療

特定健診は、生活習慣病の早期発見を目標とした健診です。それ以外の疾患が気になる場合は、以下の検査を一緒にお受けになることをお勧めします（保険適用）。

胸部X線写真、超音波検査（腹部・甲状腺・頸動脈）、内視鏡検査（胃・大腸）、骨密度測定、呼吸機能検査、腫瘍マーカー、ピロリ菌検査等。

ただし、ピロリ菌検査は胃カメラを行う場合のみ保険適用です。（胸部X線写真は、八尾市の肺がん検診ではありません。胃内視鏡検査は、八尾市の胃がん検診ではありません）

肝炎ウイルス検診

B型肝炎及びC型肝炎ウイルスの検査です。肝臓がん（肝細胞がん）の原因の大部分がウイルス性肝炎ですので、肝臓がんの早期発見のためにも特定健診と合わせてぜひお受けください。

受診券はありません。20歳以上の方が一生に一度だけ受けることができます。

大腸がん検診

便潜血検査（2回法）です。対象は40歳以上で、受診券はありません。

無症状の大腸がんでも、この検査がきっかけで発見されて命拾いした方が多いです。2回分のうち1回でも血液が検出されると、陽性（要精査）となります。

精査の方法は、大腸内視鏡検査（大腸ファイバー）で、当院で行っています。

ただし、自覚症状（便通異常、腹痛、下血、体重減少など）のある方は、この検診は飛ばして、最初から大腸ファイバーをお勧めします。

また、2親等以内に大腸がんにかかった方がおられる場合は、一度は大腸ファイバーを受けておかれることをお勧めしています。

たいじょうほうしん

带状疱疹(ヘルペス)の予防接種(予約制)

子どもの頃に感染した水痘(水ぼうそう)のウイルスが体内に潜んでいて、高齢になって免疫が低下すると带状疱疹を発症します。

ワクチン接種は、発病予防および発病した場合の症状・後遺症(神経痛)の軽減が目的です。

接種対象は50歳以上です。

当院では右表にある2種類のワクチン接種を行っています。

情報は下記をご覧ください。

商品名 (製薬会社)	水痘生ワクチン (ビケン)	シングリックス (グラクソスミスクライン)
ワクチンの種類	生ワクチン	不活化ワクチン
接種方法・回数	皮下注射 1回	筋肉注射 2回 (2~6か月間隔)
予防効果	約50%	約90%
効果持続期間	約5年	約10年

「带状疱疹.jp」(ビケン) <https://taijyouhoushin.jp/>

「带状疱疹予防.jp」(グラクソスミスクライン) <https://taijyouhoushin-yobou.jp/>

昨年度から、上記2種類のワクチンが定期接種(公費助成)になっています。

1. 接種期間: 年度実施(4月1日~翌年3月31日)

※シングリックスは、2回とも同一年度内に接種する必要があります。

2. 接種対象者: 接種当日に八尾市に住民登録のある下記①~③の方。過去に带状疱疹にかかったことのある方も対象です。ただし、過去に任意接種で接種を受けた方は対象外です。

①年度内に65歳を迎える方(誕生日の前でも接種できます)

②60~64歳で「ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害」があり、日常生活がほとんど不可能な方(身体障害者手帳1級相当)

③令和11年度までの経過措置として、その年度内に、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳となる方。

※令和12年度以降は、65歳のみが接種の対象となる予定です。

3. 自己負担額(下表) ※不活化ワクチン(シングリックス)は2回の接種が必要です。

定期接種の接種料金(1回分)	
生ワクチン	不活化ワクチン
4,400円	11,000円

①次の方は接種費用が免除されます。市民税非課税世帯の方、生活保護受給者、中国残留邦人等支援法の受給者。

②手続: 事前に保健センター窓口・郵送・電子申請により交付された予診票により接種した場合に無料となります。

(接種後の返金はできません)

定期接種の対象外の方の接種料金(1回分)		
生ワクチン	ワクチン種類	不活化ワクチン
7,700円	かかりつけ患者さん	20,900円
8,800円	かかりつけでない方	22,000円

定期接種の対象外の方の接種料金は左表の通りです。(かかりつけに該当するかどうかはお問い合わせください)

「带状疱疹ワクチンの接種が、認知症の発症を抑制する可能性」が報告されています。

イギリスでの調査で、带状疱疹ワクチンを接種した人は、接種しなかった人と比べて、認知症と診断された率が約20%低かったそうです。(イギリスの科学雑誌「ネイチャー」に掲載)

また、オーストラリアでも同様の報告がありました。(アメリカの医学界雑誌「JAMA」に掲載)。带状疱疹の発病によって、脳の血管や神経が炎症を起こし、そのためにアルツハイマー病の原因とされるアミロイドの沈着が起こるのではないかと推測されています。

肺炎球菌の予防接種（予約制）

日本人の死亡原因の第4位が肺炎です。高齢者では肺炎球菌が原因の多くを占めます。

ひとくちに肺炎球菌と言っても、一つの菌ではなく、数十種類の菌（正確には血清型）が存在します。流行する菌は年々変化しており、今までのワクチンでは効果が少ない菌が増えてきています。そのため、新しいワクチンが開発されています。

肺炎球菌ワクチンは、今年度からファイザー製薬の「**プレベナー20**」に変更になりました。

今までのワクチンは「**莢膜多糖体ワクチン**」という種類ですが、新しいワクチンは「**結合型ワクチン**」という種類です。今までのワクチンは5年毎に再接種が必要でしたが、新しいワクチンは一度の接種で長期間の免疫が期待できます。

定期接種では、初めての接種に限って、5,800円の自己負担で受けることができます。対象者は**65歳のみ**です。（65歳の誕生日の前日から66歳の誕生日の前日まで接種できます）

市民税非課税世帯の方、生活保護受給者等は負担金が免除されますが、接種前に保健センター（TEL994-8480）での手続きが必要です。

（任意接種）プレベナー20の接種料金	
かかりつけ患者さん	11,000円
かかりつけでない方	12,100円

定期接種の対象外の方の接種料金は右表の通りです。

ファイザー製薬の肺炎球菌ワクチンのサイト

<https://www.pfizer Vaccines.jp/otona-haienkyukin/>

MSD製薬の「**キャップボックス**」も接種が可能になりました。「プレベナー20」と同じ結合型ワクチンで1回の接種で長期間の免疫が得られますが、「プレベナー20」とは効果のある菌の種類（血清型）が異なります。こちらは**定期接種の対象ではありませんが、任意接種ではこちらを推奨します。**接種料金は右表の通りです。

（任意接種）キャップボックスの接種料金	
かかりつけ患者さん	13,200円
かかりつけでない方	14,300円

MSD製薬の肺炎の情報サイト

[肺炎予防.jp](https://www.haien-yobou.jp/) <https://www.haien-yobou.jp/>

その他、当院で接種を行っているワクチン

子宮頸がんワクチン（キャッチアップ接種は終了しました）

定期接種（無料）の対象者は小学6年から高校1年（相当）の女子です。

任意接種の接種料金は、1回29,700円です。（3回接種が必要）

風しんワクチン（麻しん風しん混合ワクチン）

「先天性風しん症候群予防対策事業」（無料の抗体検査の結果で無料）

「風しん第5期定期接種」（検査で対象者となっている方は無料。新規の検査はできません）

任意接種の接種料金は、9,350円です。

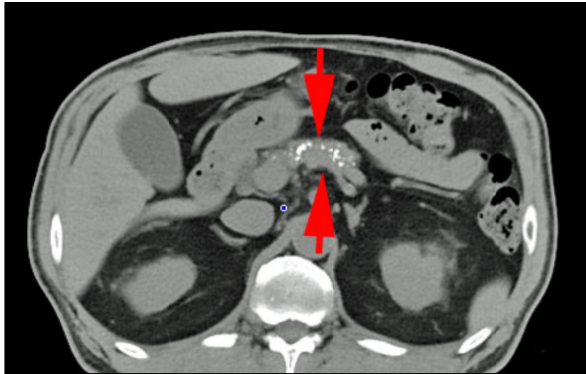
RSウイルスワクチン

60歳以上が接種対象の任意接種で、接種料金は25,000円です。

何度も休診させていただいて受けている「膵石症」の治療経過をご報告します。

(左上) 腹部のCTですが、矢印の部分が膵臓です。内部の白い点が、ESWL(体外衝撃波破砕療法)で砕けた結石です。これを内視鏡で取り除きます。

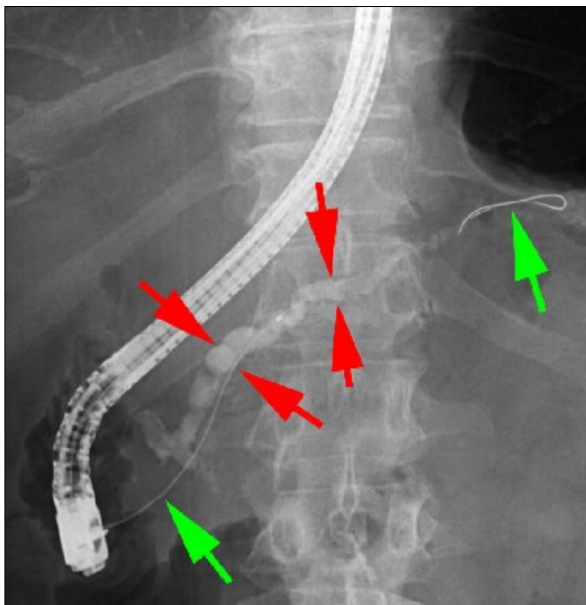
(左下) ERCP(内視鏡的逆行性胆管膵管造影)の写真です。内視鏡の先端は十二指腸まで入っています。この内視鏡は、普通の胃カメラと違って、レンズが横向きになっています。



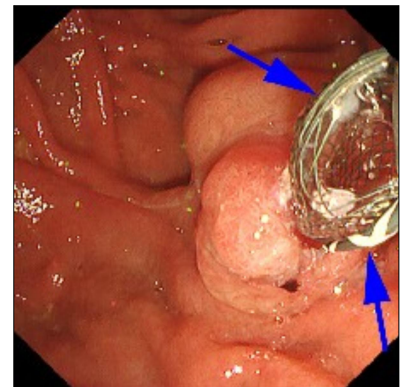
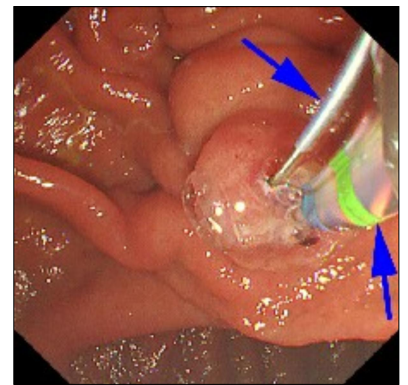
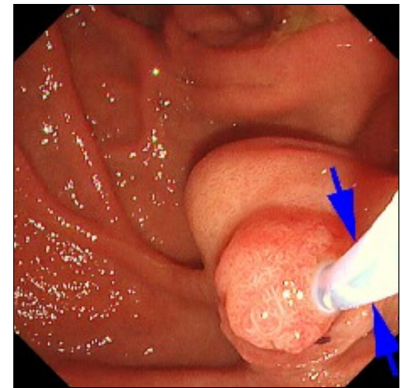
(右上) 丸い部分が胆管と膵管の出口となる「十二指腸乳頭」です。ここからカテーテルを入れて造影剤を入れた写真が左下で、赤矢印が膵管(慢性膵炎のため太いです)、緑矢印が膵管に入れているガイドワイヤーという針金です。

(右中) 結石を採るために、十二指腸乳頭を電気メスで切開しているところです。

(右下) バスケット・カテーテルという網を入れて結石を採っているところです。



まだ結石は残っていますので、6月に再治療の予定です。皆さんにはご迷惑をおかけしますが、ご理解の程お願い申し上げます。



完全予約制です (072) 990-5820

自動ドアを開ける時刻は、下記の通りです
 午前診：午前8時 夕診：午後4時45分
 (多少前後します) ご協力をお願いいたします。

毎月初回受診時には、健康保険証・医療証等をご提示ください。マイナンバーカード(マイナ保険証)も受付しています。
 お薬手帳・健診結果・紹介状などをお持ちの方は、診察前に受付へお出してください。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前8時半～	胃カメラ・エコー						水曜日は、胃カメラ・エコー等の検査優先です。空きがある場合に限り一般の診察を行います。 採血は、看護師の勤務の都合で、曜日を指定させていただきます。 夕診は予約の患者さんが終わり次第、終了としますので、ご了承ください。
午前9～12	診察				診察		
午前診終了後	感染外来						
感染外来終了後	胃カメラ・エコー 大腸ファイバー						
午後5～7	診察				診察		
夕診終了後	感染外来		×		感染外来	×	